

LAQUA
デイサービス
関店



自分の意思で行きたい場所を決める。
そんな体験を、久しぶりに。

秋の外出機能訓練の季節になりました。今回は、関店では初の試みとして、2つのコースを用意させていただき、利用者様に行き先を選択していただきました。活動的に外出をされたい方にはショッピングセンター、穏やかに外出をされたい方には喫茶店への外出機能訓練を実施させていただきました。

天候にも恵まれ、爽やかな秋晴れのなか外出機能訓練を実施することができ、車窓からは紅葉を感じていただくこともできました。「出かけるときに着ていく洋服を、自分で選んで買うことができた!」「昔はよく食べたパフェを、自分で選んで食べることができた。」!自分で選択するという喜びを感じていただける、素敵な日となりました。

生きてきた軌跡を、
一冊の本に。

株式会社新聞印刷様（大阪市天王寺区）にお越し頂き、「自分史レク」というイベントを開催しました。これは利用者様自身の歴史を振り返りながら、「自分史」として本にまとめるというレクリエーションです。参加された利用者様は「子どもの頃はこんな事をやっていた。」「私の面倒は姉さんがみてくれてね。」など、昔を懐かしみながら自身の幼少期を本にまとめていかれました。新聞印刷代表取締役の福山様は「自分史を振り返り、まとめて一冊の本にすることで、自身の人生を確認することができます。回想法として認知機能にも有効なだけでなく、家族にとってもその方の歴史を改めて知る機会になり、会話を増やす良い機会になると思います。」と仰っていました。私たちがこれまで以上に利用者様の事を知ることができ、大変貴重な機会になりました。

LAQUA
デイサービス
関ひがし店



地域の方や大学生にも、
「ラクア」を知って欲しいから。

中部学院大学（岐阜県関市）と、東海学院大学（岐阜県各務原市）、2校の大学祭に、ラクアデイサービスとしてブースを出展させていただきました。

今回はデイサービスで利用者様と一緒に作ったアイロンビーズ作りを、地域のみならずにも体験していただきました。こうした活動を通じてラクアデイサービスの名前が地域の方々に広がり、ご自身や身近な方に介護が必要になったときに、「ラクア」の名前が思い浮かぶと嬉しく思います。昨年もお出されていた東海学院大学では、「去年もいましたよね?」と学生さんに声を掛けていただきました。福祉を勉強されている学生さんが「卒業後、ラクアで働いてみたいな」と思っていたらいいな、これからも努力し続けていきます。

LAQUA
デイサービス
岐阜店



フロンティアグループ

フロンティア株式会社 / フロンティア・デザイン株式会社

(代表) 501 - 3265 岐阜県関市小瀬1202 - 14 / 0575 - 24 - 4300 / frontique.com



FRONTIQUE
JOURNAL
2019.11/12
vol.016

11月11日は、「介護の日」
子供たちに、介護についてご紹介。

フロンティア・グループ合同通信
2019年11/12月号

フロンティア株式会社
ラクアデイサービス 関店
ラクアデイサービス 関ひがし店
ラクアデイサービス 岐阜店
福祉用具貸与販売 ラクアアイテム

フロンティア・デザイン株式会社
介護業務改善アプリ ラクウェア
個別機能訓練導入コンサルティング

介護のことを、 子供たちにも知って欲しい。

11月11日は「介護の日」
小学校に介護について知っていただきました。

みなさんご存知でしょうか？11月11日は介護の日です。平成20年に、厚生労働省が11月11日を「介護の日」と決めました。介護の日は“介護従事者や介護サービス利用者、御家族を支援するために、また地域社会の支え合いや交流を促進するなど、高齢者や障害者等に対する介護に関する啓発を重点的に実施する”という目的で設定されました。

2025年に後期高齢者が爆発的に増加する、いわゆる「2025年問題」や、それに伴う社会保障費の増加など、我が国は「介護」や「高齢者」に関わる多くの課題を抱えています。また少子化による人材不足により、介護に携わる人材の不足も一層顕著になってきています。

そんななか、子供たちに「介護」や「高齢者」について知ってもらう機会をつくっていくことは、一層重要な意味をもつようになってきていると、私たちは考えています。

今回は「ラクアデイサービス 関ひがし店」の近くにある関市立富岡小学校に、関ひがし店の社員が訪問させていただきました。この富岡小学区は、世帯別の平均年齢が市内の他の地域に比べて若いのが特徴で、高齢者と同居する児童も少ないようです。つまり、関市のような田舎町でも、核家族化の影響で「おじいちゃんやおばあちゃんと接したり、介護する」ということに、あまり馴染みのない児童がどんどん多くなってきているということです。

そんな地域の児童に、「高齢者」や「介護」の仕事について知ってもらおうと、小学校の先生方と話し合っ中で今回の企画が実現しました。

関ひがし店の社員が自ら企画し、「高齢になるってどんなことだろう？」「介護の仕事ってなんだろう？」というテーマでお話させていただきました。参加してくれた6年生、約70名の児童も真剣に聞いてくださり、教員の方からも「とても勉強になりました。こうした機会は、ぜひ継続的にできると良いですね。」ととても喜んでいただけました。

デイサービスは、これまで地域の方々に施設にお越しいただくことがあっても、地域に出ていくことは少なかったように思います。

私たちは、今後も自らの情報発信や社会貢献活動を通じて、地域との繋がりをもてるようなデイサービスに成長していきたいと考えており、こういった活動をさらに積極的に実施していきたいと考えています。



DESIGN デイサービス ソリューション



LAQUA ITEM 福祉用具貸与販売



岐阜県 飛騨地域の研修会で、 弊社の取り組みのご紹介。

介護現場の生産性や働き方改革について、
弊社の取り組みをご紹介します。

岐阜県には「岐阜県デイサービスセンター協議会」という組織があり、現在約80施設が加盟しています。今回は同協議会の高山支部が主催する「飛騨地域デイサービスセンター協議会職員研修会」において、「ICT/IoTを活用したデイサービスの働き方改革」というテーマで研修をさせていただきました。また、弊社が開発した、デイサービス向け業務改善アプリケーション「ラクウェア」も合わせてご紹介させていただきました。

参加されたデイサービス管理者や職員の皆様からは、「ICTについて最近いろんな話を聞いてきたが、これまでで一番（デイサービスでのICT活用について）リアリティーを感じながら聴けました。」「すごい。確かにこのアプリを使えば業務は楽になりそう。一度見学に行きたい。」など、大変ありがたいお声をいただきました。

研修会の後半は、他事業所の職員同士が、互いの施設の悩みや取り組みについて珈琲やケーキを味わいながら交流できる時間が設けられ、活発な意見交換がなされました。

介護事業はこれから、圧倒的な人手不足の時代を迎えます。事業所間で人材を奪い合っていたのはもう過去の話。全産業での人材の奪い合いが一層加速してきています。

そんな時代に「働きたい」と思えるデイサービスを創っていくために介護事業者同士が交流し、これからの時代に合わせてハード面やソフト面を日々「カイゼン」していくことが、一層重要になっています。

まさにデイサービスセンター協議会様のような取り組みが、一層重要になってきているのです。

寒い冬がやってきました。 脚元を暖かくして、お過ごしくださいね。

ラクアアイテムでは現在、介護シューズメーカー大手の徳武産業株式会社の『あゆみシューズ』と『靴下、レッグウォーマー』をご紹介します。ご購入された利用者さまからお喜びの声が届きましたので、ご紹介させていただきます。

靴下を購入された利用者様は「私は足が小さくて、サイズの合う履きやすい靴下が今までなかったけど、この靴下はかかとがないから足の小さい私にもぴったりでうれしい」と大変喜んで下さいました。また、普段は車椅子で移動している利用者様は「車椅子に座るとズボンの裾が上がってしまうから、このレッグウォーマーとルームシューズを履くと、外出しても足首があったかいよ」と教えて下さいました。皆様のお悩み、解決できるかもしれません。ぜひお気軽にお聞かせください。